

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	疑##+「でも」的偏#研究
Author(s)	TAKANAGA, Shigeru
Citation	Hiroshima interdisciplinary studies in the humanities , 18 : 17 - 24
Issue Date	2023-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00054108
Right	
Relation	



疑问词+「でも」の偏误研究

高永 茂

広島大学

Abstract: In Japanese, the predicates of "question word+でも" usually need to be in the positive form. On the contrary, the predicates of "question word+も" are primarily in the negative form. However, after investigating the errors of Chinese Japanese learners in acquiring "interrogative words+でも", this paper finds that it is not necessary to use "interrogative words+でも" as long as the predicate is in the affirmative form; sometimes it is necessary to use "interrogative words+も". By comparing the differences between "question words+でも" and "question words+も", this paper mainly examines the errors and reasons related to "question words+でも". This paper's research results will help promote the further development of Japanese teaching. Japanese learners misuse, on the one hand, because they confuse the semantic difference between "question words+でも" and "question words+も" and do not grasp the meaning of the question words themselves; on the other hand, they do not consider the "question words+でも" and "interrogative word+も" serve as what components in the sentence.

Keywords: "question word+でも"; "question word+も"; predicate form; causes of misuse

1. 前言

“疑问词+でも”和“疑问词+も”是日语教育初级阶段就能接触到的语法点，但这两个语法点可以说是日语教育中的难点，因为日语学习者很难准确把握两者的区别。我们发现在日语学习者的作文中有下列误用与没有准确把握“疑问词+でも”和“疑问词+も”的区别有关。

- (1) 勉強ということはいつから始めても遅くはないと思った。知識を覚えれば自分の財産になり誰<でも→も>奪うことができない。¹⁾
- (2) 人生というのはひとりの一生の生活だと思う。いい人生、悪い人生、どんな人生<も→でも>一生だ。しかし、だれでもいい人生を送りたい。

通常来说，在日语教学过程中会这样解释，句型“疑问词+も+否定”表示全部否定，句型“疑问词+でも+肯定”表示全部肯定。所以单从句法知识来看，只需要教给学生“疑问词+も+否定”和“疑问词+でも+肯定”这两个句型就可以解决上述问题。可是，实际上并没有这么简单，比如学习者的作文中还有下列偏误。偏误例句(3)中就用了“疑问词(どちら)+でも+肯定”，但是仍然不正确，看来只靠掌握句法知识还不能解决问题。

- (3) 今まで見た日本の住宅は大体ヨーロッパの現代式と和式という二つのスタイルに分かれているみたいだ。どちら<でも→も>大変綺麗だ。

并且，如下列例句所示，日语母语者产出的语料中就使用了“疑问词(どちら)+でも+肯定”。那么，偏误例句(3)和日语母语者产出的例句(4)到底有什么不同呢？

- (4) 直線型キャリアアップを選ぶか、複線型キャリアアップを選ぶか。どちらでも前向きに生きていけば未来は明るいはずである。(中島孝志『35歳までに決まる！お金持ちになれる人なれない人』)²⁾

本文以中国日语学习者作文中出现的偏误为研究对象，从句法、语义两个角度分析偏误倾向和影响因素，在此基础上探寻日语教育中应该注意的问题。

2. 文献综述

前人研究分析了疑问词与「でも」或「も」共现时的句法特征、语义特征,有些研究也涉及到了日语学习者的偏误。本文首先从“疑问词+でも”和“疑问词+も”的句法特征、语义特征两方面概览前人的研究成果。

2.1 句法特征

一般认为,疑问词与「でも」共现时,通常需要与肯定形式的谓语呼应使用(庵功雄等 2000; 日本語記述文法研究会 2007, 2009),只有个别情况,比如「どの」「どんな」加上「でも」之后,可以与否定形式的谓语共现(日本語記述文法研究会 2009)。

(5) 明日の反省会にはだれでも {参加できる/*参加できない}。(日本語記述文法研究会 2009: 163)

(6) 鈴木さんの病気はどんな医者 {でも/も} 治せない。(日本語記述文法研究会 2009: 165)

中西(2006)认为,与肯定共现时,用于「に」格、「と」格、「から」格的「だれでも」和「だれも」可以互换,但是用于「を」格的时候,只能使用「だれでも」。

(7) 彼女はだれと {でも/も} 仲良くなれる人だ。(例句(7)-(9)来自中西 2006: 36)

(8) 彼女はだれから {でも/も} 好かれる性格だ。

(9) 免許さえあれば、私は {だれでも/*だれも} 医者として雇うつもりです。

而“疑问词+も”多与否定形式的谓语呼应使用,但是也不是说绝对不能与肯定形式的谓语一起使用。グループ・ジャマシイ(1998: 576)认为“疑问词+も”既可以用于肯定句,也可以用于否定句,当用于肯定句的时候表示全部肯定,当用于否定句的时候表示全部否定。

(10) どれもみんなすばらしい。(例句(10)-(11)来自グループ・ジャマシイ 1998: 575)

(11) このことは誰にも話さないでください。

日本語記述文法研究会(2007, 2009)也指出,疑问词「だれ」「何」加上「も」之后,需要与否定形式呼应,很难与表示肯定形式的谓语共现,除非再添加上一些其它成分(例如「だれもが」「だれも皆」「人はだれも」「何もかも」)才可以和肯定形式的谓语共现。但是,「どこ」「どれ」「どちら」加上「も」之后,可以与肯定形式的谓语共现,并不要求必须是否定形式的谓语。

(12) あの人物の正体はだれも {知らない/*知っている}。(日本語記述文法研究会 2009: 163)

(13) 料理はどれも {おいしくなかった/おいしかった}。(同上. 162)

(14) 何もかもがいやになった。(日本語記述文法研究会 2007: 270)

(15) 会場のスープはどこも人だかりができていた。(同上. 270)

(16) {だれもが/だれも皆/人はだれも} 愛を求めて生きていく。(同上. 269)

可见,“疑问词+でも”倾向于和肯定形式的谓语呼应,但这不代表任何情况下都不能与否定形式的谓语共现。“疑问词+も”倾向于和否定形式的谓语呼应,但是在某种情况下也可以用于肯定形式。

2.2 语义特征

鈴木(1972: 239-240)认为,疑问词后面加「でも」或「も」都表示“全部、所有”。小野、李(1988)认为,「でも」成对使用的时候含有从列举的事项中选择一个的意思,当后面再出现疑问词与「でも」时表示不拘泥于某一特定事项。

(17) われわれの造船所は客船でも貨物船でも何でも作れる。(小野、李 1988:3)

日本語記述文法研究会(2009:164)指出,疑问词后接「でも」表示“不管在什么条件下,都是如此”,谓语通常表示可能、必须、容许的含义,不能接表示一次性的事件。中西(2006)考察了与「だれでも」和「だれも」的语义特征,并指出「だれでも」与肯定形式的谓语共现时表示假定性全部肯定,即“不管是什么样的人”,这时的「だれでも」和「みんな」的语义不同。但是,如果句中出现了主题或条件,那么「だれでも」的语义和「みんな」没有太大差异。同时,中西(2006)还指出了学习者使用「だれでも」时出现的偏误。

(18) だれでも当たるといふ驚異の宝くじ必勝法について説明しよう。(中西 2006:34)³⁾

(19) 仮面ライターは子供ならだれでもあこがれるヒーローだ。(同上 .35)

(20) 教師: アメリカのどの地区で、〈はい〉なんねんに1回あって、え誰がどのように選挙すんのかもうちょっと教えてもらえませんか。

学習者:(略) このあいだあった、あった選挙は〈うん〉ぜん、全米、のせ選挙で、〈うん〉あの一、だれでも参加しました。【正用:誰もが参加しました】(同上 .29)

(21) 教師: どうして一緒に住まないんですか。何か、〈うーん〉すす、〈それは一〉住めないという問題があるんですか。

学習者: うーん、／それはデンマークでも、〈うーん〉だれも、ははっ、一人で、住んでいるから。習慣。【正用:デンマークでは(老人は)だれもが一人で住んでいるから】(同上 .34)

前人对“疑问词+でも”和“疑问词+も”的句法特征和语义特征都做了研究论述,本文在此基础上通过分析日语学习者错误使用“疑问词+でも”时的语境,考察产生偏误的原因,并进一步探明“疑问词+でも”和“疑问词+も”的句法和语义差异。

3. 研究方法

本文使用《YUK 带标签中国日语学习者作文语料库》收集中国日语学习者在使用“疑问词+でも”时产生的偏误语料,该语料库是日本关西学院大学于康课题组构建的日语学习者大型语料库,容纳了中国 56 所高校的学生作文语料,字数达 660 万字,偏误标签达 22 万个,该语料库的语料能够代表中国日语学习者出现的典型偏误。

本文主要从“疑问词+でも”在句中所作的成分、以及谓语形式等句法特征以及语义特征分析偏误情况。在分析偏误语料时,为了说明日语本族语者的使用情况,本文将从日语本族语者语料库 KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」中抽取语料,与偏误语料进行对比。从 KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」收集到的日语本族语者的语料,本文以“作者+作品名”或者“杂志名+出版年”的形式标记出处。

4. 日语学习者的偏误情况

4.1 「でも」和「も」的语义

为了探明疑问词与「でも」或「も」的共现问题,有必要先明确「でも」和「も」各自的语义,而「でも」所表达的意思又与「も」有一定关联,因此我们需要先看一下「も」的语义。

沼田(1986:156-171)详细分析了副助词「も」的使用环境,指出「も」可以表达 3 个意思,

分别记作「も₁」「も₂」「も₃」。

其中,「も₁」表示单纯并列⁴⁾,表示和集合中的其它成员一样。

(22) 人生の季節をも、自然の季節と同じように受け入れる。(沼田 1986: 156)

(23) 古米の過剰分がだぶつき、新米もなお増産がつづく。(同上 .157)

表示“意外性”的「も₂」是指举出极其出乎意料的极端情况,暗示其它情况下也是如此。

(24) 彼女はたいていのことは話すのだが、実際は、親友にもも話せない秘密がある。(沼田 1986: 157)

(25) 緑化運動は首相ものりだすほど、力をいれられた。(同上 .159)

表示舒缓语义的「も₃」是指不存在其它同类成员,使用「も₃」是为了使表达变得间接、柔和。

(26) 期末試験も済んだし、やれやれだ。(沼田 1986: 161)

(26) その年もおしつまった 12 月 24 日の夕方、彼は突然やって来た。(同上 .159)

上面是「も」所表达的含义,接下来我们再来看一下「でも」。首先,「でも」可以看成是格助词「で」和「も」组合在一起⁵⁾,比如例句(27)就是表示地点的格助词「で」后面加上了「も₁」,单纯表示地点的并列。

(27) この夏は東京でも 35 度をこえる日が続いた。(沼田 1986: 173)

この夏は東京で 35 度をこえる日が続いた。

この夏は東京でも、名古屋でも、大阪でも 35 度をこえる日が続いた。

当然,「でも」也可能是「だ」的中止形与「も₂」组合在一起,比如例句(28)和例句(29)中的「でも」就相当于「であっても」的意思(沼田 1986)。这时的「でも」用于列举一个极端的例子,暗含其它情况也是如此(グループ・ジャマシイ 1998: 277; 庵功雄等 2001: 371)。当疑问词后接「でも」时,表示不管在什么样的状况下都是如此,语气中含有强烈的假设(中西 2006; 日本語記述文法研究会 2009)。

(28) そんなことは子供でも知っている。(沼田 1986: 173)

(29) あの先生は親切で、夜中でも往診してくださいました。(同上 .173)

4.2 日语学习者的偏误倾向

为了了解日语学习者在“疑问词+でも”出现的偏误倾向,我们使用《YUK 带标签中国日语学习者作文语料库》进行了检索,并将结果做了如下整理。

在统计过程中,根据学习者出现的偏误情况,将偏误类型分为四类,分别是“*でも→も”“*も→でも”“*○→でも”“*でも→○”。其中,“*でも→も”是指日语学习者用了「でも」,但是实际上应该使用「も」;“*も→でも”是指日语学习者用了「も」,但是实际上应该使用「でも」;“*○→でも”是指日语学习者在此处没有使用助词,但是实际上应该使用「でも」。由于“*○→でも”出现偏误的原因是与日语学习者没有意识到从句中存在疑问词有关,这和其它两类有本质

表：“疑问词+でも”的偏误情况

语言环境	偏误类型			
	*でも→も	*も→でも	*○→でも	*でも→○
谓语为肯定形式时	12	11	10	1
谓语为否定形式时	19	0	0	0
合计	31	11	10	1

的不同，并且“*でも→〇”只有1例，所以本文只讨论“*でも→も”和“*も→でも”这两种情况。

从表中数据可以看出，学习者的偏误例句中，当谓语为肯定形式时会出现各种类型的偏误，当谓语为否定形式的时候只出现“*でも→も”的偏误。从偏误类型来看，不管谓语部分是否定表达还是肯定表达，学习者都更倾向于使用“疑问词+でも”；而且当谓语是否定表达的时候，“疑问词+でも”出现的错误最多。由此可见，学习者并没有掌握“疑问词+でも”的句法特征和语义特征，在使用过程中经常将“疑问词+でも”和“疑问词+も”混用，没有注意与之相关的谓语形式和语义对句子表达的影响。

4.2.1 偏误例句的句法特征

下面的例句为日语学习者作文中出现的例句，错误形式分别为“疑问词+でも+否定”和“疑问词+も+肯定”。

- (30) 勉強ということはいつから始めても遅くはないと思った。知識を覚えれば自分の財産になり誰<でも→も>奪うことができない。<同例句(1)>
- (31) これから、大学院の入学のために、全身全霊を打ち込んで準備しなければなりません。将来はどうなるのか誰<でも→も>わかりませんが、今一生懸命するなら将来きっと努力のたまものももらえらると思います。
- (32) 大学はとてつも寂しいです。生活が合わない。毎日教室へ行きます。勉強します。私には何<でも→も>ない。
- (33) 今、子供だけでなく、大人も非常にアニメが好きです。私達の生活の中でどこに<も→でも>あります。
- (34) 大学に入ったばかりの時に、私は何<も→でも>新鮮だと思いました。
- (35) もちろん、何もしないわけではない。ただし、何<も→でも>予定通りするのはつまらないではないか。

上述例句中出现的疑问词分别为「誰」「何」「どこ」，当谓语为肯定形式的时候应该使用「でも」，当谓语为否定形式的时候应该使用「も」。虽然日语本族语者产出的语料中也有下列例句(36)这样的情况，使用了“だれ+も+肯定”，但是分析一下疑问词在句中的承担的作用可以看出，上述偏误例句中的疑问词在句中分别用作「が」格、「に」格、「を」格，而例句(36)则是用作「と」格。这一差异会影响“だれ+も+肯定”能否成立。

- (36) 彼女はだれとも仲良くなれるようだ。(中西 2006 : 32)

尾上(1983)认为“疑问词+も”的谓语只能是否定形式，还是也允许是肯定形式，要看“疑问词+も”在句中充当何种成分。“疑问词+も”用于必有论元(如例句(37)的「が」格、例句(38)的「を」格、例句(39)的「へ」格、例句(40)的「に」格等)的时候⁶⁾，其谓语需要是否定形式，表示全部否定(尾上 1983:417-419)。如果疑问词用作必有论元「が」格、「を」格、「に」格、「へ」格表示全部肯定的时候，需要用「でも」，如例句(41)和例句(42)。

- (37) あの人物の正体はだれも {知らない / *知っている}。(日本語記述文法研究会 2009 : 163)
- (38) 何も知らない。(尾上 1983 : 417)
- (39) 今度の休みにはどこへもでかけないつもりだ。(日本語記述文法研究会 2007 :

162)

- (40) 「心配するな、俺はどこにも行かないから」(五百香ノエル『青い方程式』)
- (41) ラーメンといえば、極めて身近な食べ物である。誰でも知っている、誰でも食べている。(岡田哲『ラーメンの誕生』)
- (42) 彼らとは小さい頃から一緒に遊んでいたから、何でも知っているつもりだったが、僕より先にビートルズに理解を示していたとは一。(稲葉稔『かまち』)

如例句(43)-(46)所示,当用于可有论元「から」格、「と」格等成分时,既可以用于否定形式,也可以用于肯定形式(中西 2006)。当然,当「に」格也作为可有论元使用时,就可以使用“疑问词+も+肯定”的表达方式,如例句(47)。

- (43) 誰からも愛される好青年。(尾上 1983: 419)
- (44) 誰からも愛されないまま、死んでいく女…。(小池真理子『夜は満ちる』)
- (45) 彼女はだれとも仲良くなれるようだ。(中西 2006: 32)
- (46) 彼女は誰とも会いたがらないだろうし、私も会わせたくない。(大沢在昌『秋に墓標を』)
- (47) 合格したことはだれにも胸を張って言えることだ。(中西 2006: 32)

由此可见,例句(36)能够使用“疑问词+も+肯定”的表达方式,而偏误例句则只能使用“疑问词+も+否定”或“疑问词+でも+肯定”,这是与疑问词在句中是不是必有论元有关。

当然,如果疑问词「だれ」「どこ」所指代的事物是限定性集合中的要素,那么“疑问词+も”的谓语也可以是肯定形式,这时在句首通常会有「は」「なら」限定「だれ」「どこ」所指代事物的范围。只是当「だれも」是主语时,通常需要后接「が」。

- (48) このクラスの人は誰もが宝くじに当たった。(中西 2006: 30)
- (49) ファッション界ではだれもが小池さんを「先生」と呼ぶ。(同上 .31)
- (50) 人はだれも愛を求めて生きていく。(日本語記述文法研究会 2007: 269)
- (51) 会場のブースはどこも人だかりができていた。(同上 .270)

4.2.2 偏误例句的语义特征

在 4.2.1 小节我们看了偏误例句的句法特征以及偏误原因,本小节主要探讨偏误例句的语义特征及偏误原因。

- (52) 今まで見た日本の住宅は大体ヨーロッパの現代式と和式という二つのスタイルに分かれているみたいだ。どちらくでも→も>大変綺麗だ。<同例句(3)>
- (53) 人生というのはひとりの一生の生活だと思う。いい人生、悪い人生、どんな人生→も→でも>一生だ。しかし、だれでもいい人生を送りたい。<同例句(2)>

偏误例句(52)用了“どちら+でも+肯定”的表达方式,正确表达应为“どちら+も+肯定”,而偏误例句(53)用了“どちら+も+肯定”的表达方式,正确表达应为“どちら+でも+肯定”。通常来说当疑问词是「だれ」「何」「どこ」时,“疑问词+も”的谓语应为否定形式,但是疑问词「どちら」「どんな」不受此限制。如前所述,与「だれ」「何」「どこ」不同,疑问词「どれ」「どちら」「どの」后接「も」时,谓语可以是肯定形式,也可以是否定形式(日本語記述文法研究会 2007: 270; 2009: 162-163)。这应该是因为「どれ」「どちら」「どの」所指代的事物本身就能够表示是某个限定性集合中的要素,所以无需在句法上特意用「は」「なら」标记就可以用“疑问词+も+

肯定”的表达方式。

(54) 料理はどれも {おいしくなかった／おいしかった}。(日本語記述文法研究会 2009: 162)

(55) 和食と洋食のどちらも {おいしくなかった／おいしかった}。(同上.163)

(56) 結婚すれば男は「夫」となり、女は「妻」となる。このふたつの漢字は頭の部分が共通していて、どちらも髪にかんざしのような飾りをつけた形に描かれる。(阿辻哲次『漢字のいい話』)

既然当疑问词是「どれ」「どちら」「どの」时，“疑问词+でも”和“疑问词+も”的谓语都可以是肯定形式，那么为什么偏误例句只能用“疑问词+も”呢？这不仅是与「どれ」「どちら」「どの」本身的语义特征有关，也受句意影响。“N+でも”表示列举一个极端的事例，暗含其它情况更是如此，所以“疑问词+でも”也带有“不管选哪一个”的含义，表示不管是哪种情况，结果都一样。而“N+も”可以表示并列，所以“疑问词+も”也可以表示“全部”的含义。上述偏误例句(52)用了「どちらでも」，虽然「どちらでも」的谓语可以是肯定形式，但是此处的含义是“欧式和日式都很漂亮”，是要表达“全部都”的含义，所以应该使用「どちらも」。将偏误例句(52)和例句(57)比较一下就可以发现两者的不同，例句(57)的含义是不管是「直線型キャリアアップ」还是「複線型キャリアアップ」，其未来都应该是光明的，是表达不管选哪一个的意思，所以使用了「どちらでも」。偏误例句(53)也是一样，句子的含义是“不管是美好的人生，还是不好的人生”，表示任选其一的意思，所以应该使用「どちらでも」。再看下面的例句(58)，它的含义是“两个包间都是一样的”，表示“全部”的意思，并不表示两者选其一，所以该句会用「どちらも」。

(57) 直線型キャリアアップを選ぶか、複線型キャリアアップを選ぶか。どちらでも前向きに生きていけば未来は明るいはずである。(中島孝志『35歳までに決まる！お金持ちになれる人なれない人』)

(58) 個室は2部屋あり、どちらもシンプルで上品な内装。(『ミセス』2004年4月号)

当然，“疑问词+でも”对谓语所表达的意思也有要求。日本語記述文法研究会(2009)指出，疑问词后接「でも」表示“不管在什么条件下，都是如此”，谓语通常表示可能、必须、容许、预测或者习惯性事件，不能接表示一次性的事件。

(59) 明日の反省会にはだれでも {参加できる／*参加した}。(日本語記述文法研究会 2009: 163)

(60) ?だれでも夢をもち、支え合うまち、大阪。(中西 2006: 37)

(61) だれでも夢が持て、支え合えるまち、大阪。(作例)

(62) 赤字解消のために、できることは何でもしなければならない。(テレビ東京報道局『ガイアの夜明け終わりなき挑戦』)

(63) お前は何でも自分でやってみたいんだろう。ならば一度ソニーを離れてみろ。(永井雄一『尾崎伝説』)

5. 结语

本文通过比较“疑问词+でも”和“疑问词+も”的差异，主要考察了与“疑问词+でも”相关的偏误情况及原因，本文的研究结果有助于推动日语教学的进一步发展。

24 A Study on the Misuse of Interrogative Words + "でも"

通过分析,我们认为日语学习者在使用“疑问词+でも/も”时首先需要把握疑问词属于哪一类,疑问词在句中充当什么成分,疑问词指代的事物是否为限定性集合中的要素,因为这些因素会影响谓语的表达形式。

其次,日语学习者需要区分“疑问词+でも”和“疑问词+も”的语义差别,当把疑问词表示的同类事物作为一个一个的个体看待,表示“不管是其中哪一种情况,结果都不会有改变”的时候,需要用“疑问词+でも”;当把疑问词表示的同类事物放在一起作为一个整体看待,表示“全部都…”的含意的时候,需要用“疑问词+も”。

总之,在“疑问词+でも”和“疑问词+も”的教学过程中,既要注意其句法特征,也要区分两者的语义差异。

注:

- 1) 本文使用的偏误例句出自《YUK 带标签中国日语学习者作文语料库》,以下不再逐一赘述。
- 2) 该例句来源于语料库 KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」。
- 3) 中西(2006)使用的语料库是“KY コーパス(version 1.2)”。
- 4) 沼田(1986)称之为「単純他者肯定」。
- 5) 「でも」作为副助词使用的时候通常不与疑问词共现,因此本文不讨论副助词「でも」的使用情况。
- 6) 此时的疑问词主要是「だれ」「何」「どこ」等,不包括「どれ、どちら、どの」。

参考文献:

- [1] 庵功雄,高梨信乃,中西久実子,山田敏弘,2000. 初級を教える人のための日本語文法ハンドブック [M]. 東京:スリーエーネットワーク.
- [2] 庵功雄,高梨信乃,中西久実子,山田敏弘,2001. 中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック [M]. 東京:スリーエーネットワーク.
- [3] 于康,林璋,于一樂,ほか,2017. 日语格助词的偏误研究(上) [M]. 杭州:浙江工商大学出版社.
- [4] 尾上圭介,1983. 不定語の語性と用法 [M] // 渡辺実(編). 副用語の研究. 東京:明治書院:404-431.
- [5] 沼田善子,1986. 取り立て詞 [M] // 奥津敬一郎,沼田善子,杉本武. いわゆる日本語助詞の研究. 東京:凡人社:105-225.
- [6] 小野米一,李志華,1988. 係助詞「でも」と「だって」の用法について [J]. 北海道教育大学紀要(第一部. A, 人文科学編)(39): 1-10.
- [7] グループ・ジャマシイ,1998. 教師と学習者のための日本語文型辞典 [M]. 東京:くろしお出版.
- [8] 鈴木重幸,1972. 日本語文法・形態論 [M]. 東京:むぎ書房.
- [9] 中西久実子,2006. 「だれも」は肯定述語と結びつかないのか—「だれも等しく教育を受ける権利を有している」 [M] // 益岡隆志,野田尚史,森山卓郎(編). 日本語文法の新地平2(文論編). 東京:くろしお出版:27-39.
- [10] 日本語記述文法研究会,2007. 現代日本語文法 3[M]. 東京:くろしお出版.
- [11] 日本語記述文法研究会,2009. 現代日本語文法 5[M]. 東京:くろしお出版.